

# Go

四国のまんなか

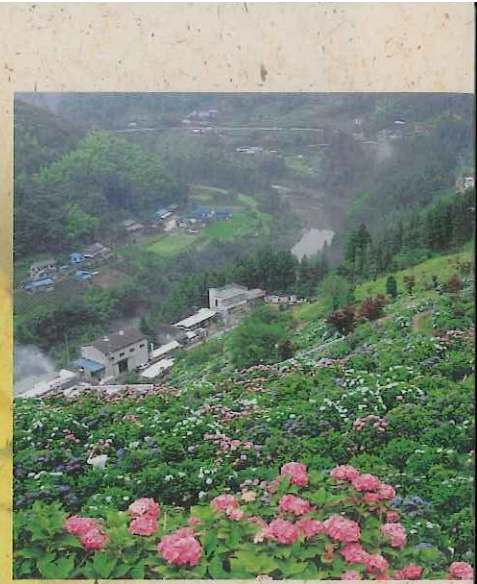
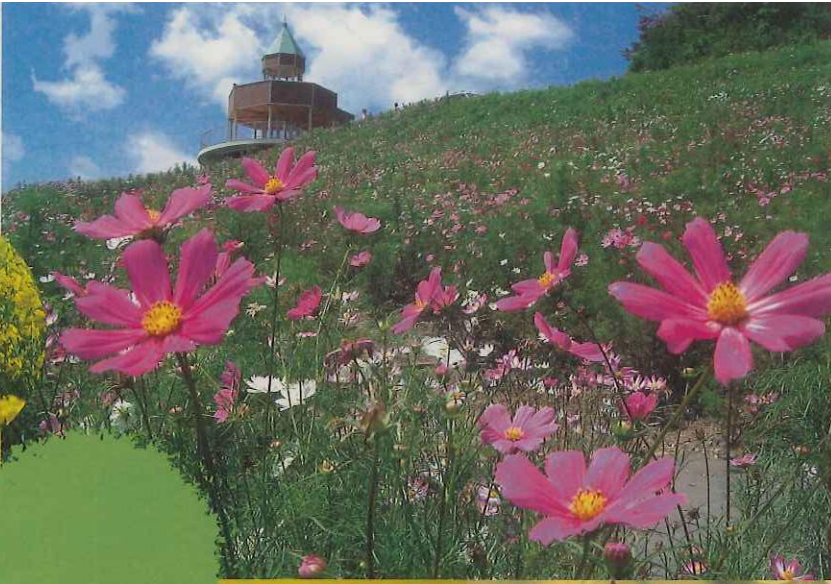


# ing



海・山がひとつになる

 四国中央市



# Doing

Shikokuchuo City

# 大自然を満喫する

## 翠波高原 ↑

Suha kougen Highland H-9

春には黄金色の菜の花が一面に輝き、夏には赤や白、ピンクの可憐な早咲きコスモスの花でいっぱいになります。翠波峰からの360度の眺望は、瀬戸内海の島々と四国山地の両方を見ることができると大パノラマです。トイレ(非水洗)・大型遊具・駐車場あり

## あじさいの里 ↑

Ajisai no Sato Hydrangea Garden G-14

4haに2万株のあじさいが咲き誇る花の名所です。6月中旬～下旬にかけては「新宮あじさい祭り」が開催されます。



## てらの湖畔広場(法皇湖) ↑

Terano Lakeside Park L-6

法皇湖(富郷ダム湖)に面して、銅山川に関する展示施設「てらの水のかた」があり、2階では展望レストラン「湖畔のやかた」を営業。保存民家細川家のほか、貸しポート(予約)もあります。トイレ・食事施設・駐車場あり(火・水曜定休、冬季休館)



## 土居三山 ↑

Doi Sanzan Mountains L-2 K-4 I-5

土居の南に連なる山脈は、古くから霊山として畏れられ、天狗や仙人の話なども伝わる法皇山脈。その中でもひととき目を引く三つの峰は「土居三山」と呼ばれる1,500mを超える高峰で、西から「東赤石山」「二ツ嶽」「赤皇山」。古来燧灘を航行する者が航海の目安にしたと言われています。



## やまじ風公園 →

Yamajikaze Park G-3

主に春と秋に吹く、「やまじ風」と呼ばれる強い風。その風の名が付けられた「やまじ風公園」は園内にやまじ風を観測する時計風向塔があり、庭園付きのエントランス広場はこの地方特産の「赤石五葉松」が植えられています。また、スポーツやイベントに使える多目的広場など心と体のリフレッシュゾーンとして多くの人に愛され、利用されています。

## 鳥のさえずりに心を和ませるバードウォッチング



鳴き声はすれどもなかなか姿を見せない野鳥たち。そんな鳥たちの姿を双眼鏡で楽しんでみましょう。服装は周囲に溶け込むような色合いの地味なものを。選りすぐりに近づきまじよう。耳を良く澄まして、さえずりの聞こえる方向を双眼鏡で探しましょう。10倍以上の倍率の双眼鏡は手を持って観察するには向きません。



## 機滝 ↑

Hatahaki Falls H-5

赤皇山の中腹に位置する「機滝」は、その名の通りまさに機織りの糸を思わせる繊細な姿の滝です。眺める人に清涼感を与えてくれる優雅な癒しの情景は、皇子渓谷随一と言われています。



## 敬天の滝 ↑

Keiten no Taki Falls J-4

二ツ嶽登山コースの途中にある「敬天の滝」。天に向かってそびえる岩肌が紅葉の季節には黄金色に染まり、その岩間をひと筋の糸のように落ちていく滝の姿は、訪れる人の心を魅了します。



## 寒川豊岡海浜公園ふれあいビーチ ↑

Sangawa-Toyooka Seaside Park (Hureai Beach) F-7

愛媛県下最大級の人工海浜で延長340m。東西両側に突堤、中央部に離岸堤を整備。海水浴場開設期間中はシャワー・トイレ・休憩所を設置。開設期間7月中旬～8月下旬

# トレッキングのすすめ!

自然の中へ飛び込んでみよう。  
あいのままの自然とふれあうことが自然と  
友達になる近道。登山のように計画的に頂上を  
目指すのではなく、森の木々や草花を楽しみ、  
鳥のさえずりや小川のせせらぎに耳を傾けながら  
ゆっくり散歩する、  
それがトレッキングの極意です。



**霧の森コテージ** ↑  
Kiri no Mori Cottages I-13

清流・馬立川に沿って立ち並ぶ7棟の山小屋風コテージ。まさに別荘感覚でお使いいただけます。コテージ内のミニキッチンでの自炊も楽しいもの。



ゆっくり時間をかけて散歩してみませんか。  
花の香りを楽しみながら、おいしい空気を  
あらいっばい吸い込めば体の隅々まで  
リフレッシュすることができますよ。

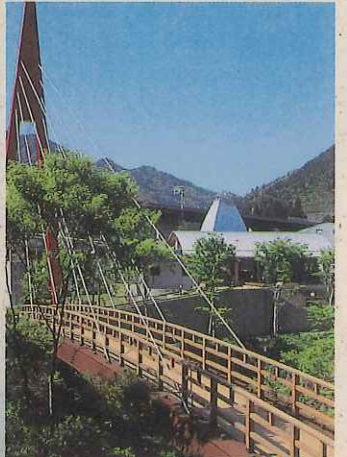
**ベースはゆっくり、とにかく自然を感じながら、  
とにかく自然を感じながら、**  
ベースはゆっくり、とにかく自然を感じながら、  
トレッキングでの歩幅は小さめにし、足の裏全体で  
地面を踏みしめるように歩きましょう。  
往復で2〜3時間を目安にして、水筒やおやつ、  
そして雨具や非常食も忘れずに。  
時には立ち止まって草花を観察したり、花の香りを楽しんだり、  
目も耳も鼻も使って自然に親しみましょう。  
春は菜の花、秋はコスモス、季節を選んでお花畑の散策。  
一面に咲き誇るお花畑の中で、

**霧の森茶フェ** ↑ 新宮茶ミュージアム、菓子工房、茶フェゆるりの3つのエリアで構成。手もみ茶の体験や洋菓子の製造工程を窓越しに見て楽しんだり、お茶のロールケーキやソフトクリーム、新感覚のアレンジ茶などがふんだんに味わえます。



**霧の森交湯〜館** ↑ 泉質は低張性弱アルカリ性冷鉱泉。神経痛、筋肉、関節痛などに効果があります。1階が霧の森温泉を利用した温浴フロア、2階が研修フロアとなっており、癒しと学びの場として利用できます。

**Kiri no Mori Spa** I-13  
入浴時間/AM10:00~PM9:00 (最終受付PM8:30)  
入浴料/中学生以上65歳未満300円 65歳以上200円  
小学生200円 小学生未満 無料  
定休日/毎週月曜日 (祝日と重なる日はその翌日)



**霧の森** ↑ 食べて、見て、遊んで、泊まれる大型複合施設です。

**Kiri no Mori** I-13  
温泉コテージ、茶室、レストランなどもあります。「霧の森大福」「活水水豆腐」も製造直売されています。清流「馬立川」のほとりて憩いのひとときをお過ごしください。  
営業時間/AM10:00~PM5:00  
定休日/月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日) 但し、4月~8月は無休です。

# Play ing

Shikokuchuo City

楽しいことには  
少しの  
**冒険が**  
必要なんだ



**金砂湖畔公園** ↑  
Lake Kinsyako Park I-8

資料展示館、あずまや、船型遊具、水車小屋などの施設・トイレ・駐車場(50台)有り

昭和29年、柳瀬ダムの建設によってできた金砂湖は、四国山地と法皇山脈の間に横たわる延長7kmの人造湖。標高290mにある湖面は、周囲の山々の緑を映し出し、真紅の平野橋と見事なコントラストを描き出しています。湖の名前は、1300年以上前の孝徳天皇の時代に銅山川で砂金を採取していたことに由来。

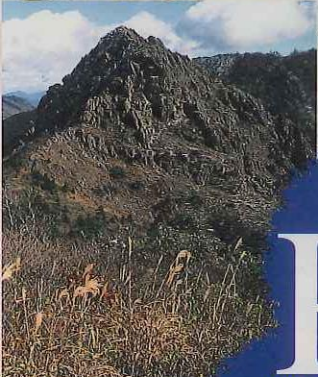


**あじさいロード** ↑  
Hydrangea Road I-8

国道319号の法皇トンネルから別子山にかけての沿線(約15km)に約3万株のアジサイを植栽。地元ボランティア団体が除草や肥料の世話などで奉仕。

**スカイフィールド富郷** ↑  
Tomisato Skyfield I-7

サッカーやラグビーなど、フィールドスポーツ全般に利用できる施設です。3面あるグラウンドは全て年間を通じて緑の天然芝が保たれていて、快適な環境の中でスポーツが楽しめます。



ほんまの  
出逢いに  
想いをはなす

# Shikokuchuo City Feeling



**暁雨館**  
Gyokuan Museum of History G-4  
寛政7年(1795年)伊予紀行の途にあった小林一茶も立ち寄った暁雨館は、当時の入野村屋第十代当主山中時風の名付けた住居号で、200年を越える年月を経、誇るべき自然と文化のシンボルとして建設され再び暁雨館と命名されました。近藤篤山や安藤正楽など先人の業績を紹介し、赤石山系の岩石・鉱物も展示されています。  
開館時間/AM9:00~PM5:00  
休館日/月曜日、祝日の翌日、12月29日~1月3日 入場料/無料



**真鍋家住宅**  
Manabe Historical House C-12  
平家落人伝説の残る切山にある国指定重要文化財の民家です。桃山時代後期(約410年前)建造で、全国的に見ても極めて古く重要な遺構です。  
開館時間/AM8:00~PM5:00 入場料/200円



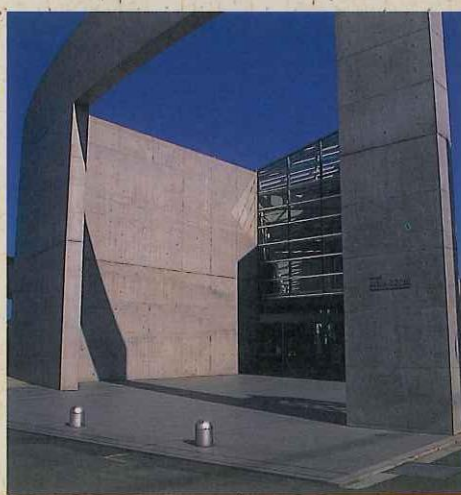
**すすきヶ原入野公園**  
Susukigahara-Irino Park G-4  
桜の名所「すすきヶ原」。開花の時期を迎えると、家族連れやグループで、桜花爛漫の中を楽しく過ごしている人々にぎわいます。隣接する土居神社には、小林一茶の句碑が建てられており、すすきヶ原とともに四季を通して趣の深い場所です。



**お花見しよう**  
満開の桜に、おしいお弁当。賑やかにするもよし、静かに趣深く過ごすもよし。時間を気にせず、ただのんびりと、家族や気の合う仲間達と愉しむ。桜の咲く頃は、お花見に出掛けませんか。



**川の江城山公園**  
Kawanoe Shiroyama Park C-10  
南北朝動乱の頃(約670年前)南朝方河野氏の武将土肥義昌が鷲尾山(城山)に築いたのが川の江城(別名仏殿城)です。讃岐・阿波・土佐の三国の国境にあることから戦乱が絶えず、落城の折には城主の娘、年姫が海に身を投げたという「姫ヶ嶽の悲話伝説」もあり、その死を悼んだと謝野晶子が詠んだ句碑もあります。また、「寛政の三博士」の一人である尾藤二洲(川の江町出身)の招魂碑もあります。春は桜と椿、秋は紅葉の名所として知られ、四季を通して松の美しい公園です。  
天守閣開館時間/AM9:00~PM4:00  
休館日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)12月29日~1月3日  
天守閣入場料/大人100円、子供50円 公園は無料



**かわのえ高原ふるさと館**  
Kawanoe Takahara Museum D-10  
見晴らしのよい高台にある、採光豊かな開放感あふれる施設。歴史・文化に関する資料の展示や生涯学習の成果の発表などを行っている郷土資料館です。  
開館時間/AM9:00~PM4:00  
休館日/月曜日、祝日の翌日、12月29日~1月3日 入館料/無料



**手作り体験**  
紙のまち資料館では紙ができたあかまでの全てを体験できます。紙漉きコーナーでは、和紙を漉いて、オリシールのハガキやお札を作ることが出来ます。係の方が親切に教えてくれるので、ぜひ参加して作ってみましょう。

**紙のまち資料館**  
Paper Museum D-10  
市内で生産される各種紙製品の展示・即売室、紙の生産工程がわかる展示室、紙をテーマにした企画室などがあります。紙漉きや、水引細工、絵手紙などペーパークラブが体験できます。  
開館時間/AM9:00~PM4:00  
休館日/月曜日、祝日の翌日、12月29日~1月3日 入館料/無料



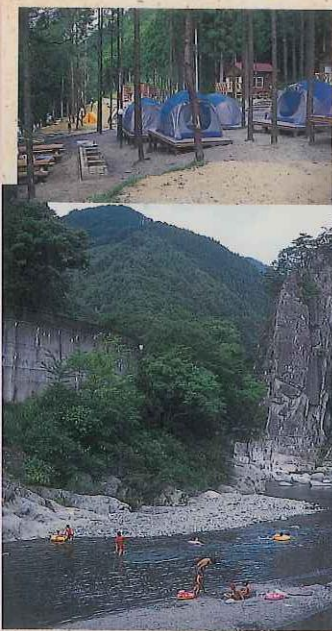
# 自然の中で泊まる 遊ぶ

みんなで協力して  
テントを設営しよう

テント設営は  
安全で平坦な水はけの良い場所が  
基本。日当たりや風向きに注意して  
設営しましょう。  
みんなで協力して役割分担する  
ことも大切です。  
お父さんとお兄ちゃんはお父さん係  
お母さんとお姉さんはお母さん係  
キッズやテーブルの  
セッティングもこのように  
仕事を分担して設営しましょう。

星空を眺めながら、  
家族や自然との  
語り合いのひととき

夜空に散らばる無数の星たちを眺めながら、  
自然との一体感を感ずることが出来ます。  
テントのライトも消して  
大自然を体いっぱい満喫しましょう。  
天文図鑑や星座の早見表を手帳に  
夜空の観察メモをつけていけば、  
キャンプ場ではお楽しみ夜更かしをせず、  
静寂を楽しむのが早めにはかまします。

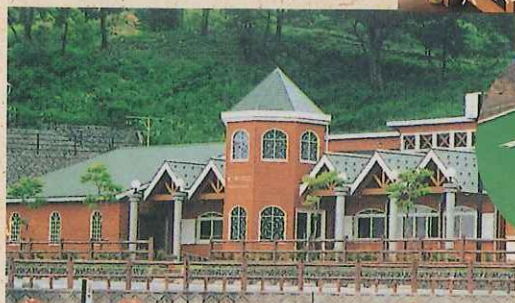


**富郷キャンプ場** ↑  
Tomisato Camping Area J-6  
銅山川での水遊びや、木立の中での散策など、自然の中での遊びを満喫できるキャンプ場です。第一キャンプ場と第二キャンプ場にわかれており、ケビン(6人用4棟、10人用1棟)、共同炊事場、公衆便所、テントサイト、芝生広場が整備されています。  
利用期間7月中旬～8月下旬まで

**霧の高原キャンプ場** ↑  
Kiri no Kogen Camping Area & Barbecue House H-14  
標高1,000mの大草原「塩塚高原」にあり、16のテントサイトを有し、自然の中でバーベキューが楽しめます。  
営業期間4月～10月  
営業時間AM10:00～PM4:00  
定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)  
但し、ゴールデンウィークと夏休みは無休



バーベキューハウス



**霧の高原キャンプ場センターハウス** ↑  
Kiri no Kogen Camping Center I-15  
霧の高原キャンプ場の総合案内施設です。  
軽食、売店、キャンプ用品等の貸し出し、コインランドリー、シャワーもあります。



プレイゲレンデ



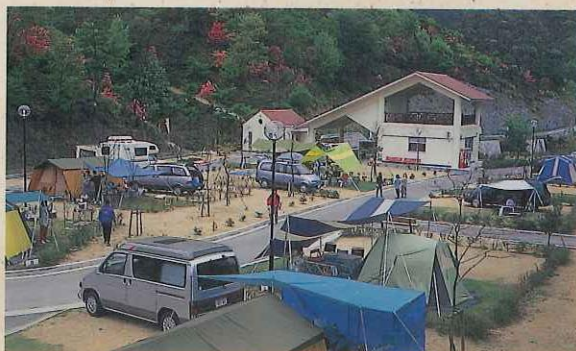
**霧の高原オートキャンプ場** ↑  
Kiri no Kogen Automobile Campsite I-15  
AC電源、流し台、かまど、駐車エリアを備えています。  
デイキャンプ場もあります。



**霧の高原コテージ** ↑  
Kiri no Kogen Cottages I-15  
朝霧に包まれる中、さわやかなコテージです。



**パラグライダー** ↑  
Paragliding I-14  
四国屈指のパラグライダーズスポット塩塚高原で、大空を舞ってみませんか。



**森と湖畔の公園 オートキャンプ場** ↑  
Mori to Kohan Automobile Campsite D-11  
オートキャンプ場、菖蒲園、中央広場を囲むように、ふれあい橋や原っぱ広場、四季の森、自然観察の森などがあり、それらを結び散策道が湖畔の周辺や木立の中へつづいています。一年を通じて釣りを楽しむことも出来る、楽しみ方も広がるキャンプ場です。  
オートキャンプ場利用期間4月25日～10月31日(11月1日～4月24日はデイキャンプのみ)  
入退場時間PM2:00～AM10:00 料金/1サイト2,000円(デイキャンプは、1サイト1,000円)  
オートキャンプ場休園日/10月14日～10月15日、12月29日～1月3日

## アウトドアの 楽しみ方は いろいろ



**最大の楽しみは  
アウトドアレジャー**

アウトドアレジャー最大の楽しみは  
なんといっても野外料理です。  
お家でのご飯はお母さん任せのお父さん  
アウトドアではお父さんが  
奮発した腕をふるって食事を作りましょう。  
あらかじめ準備した食材を串に刺して  
炭火コンロ等で焼くだけでOK。  
手際よく火を起こして  
カクコイとこころを見せましょう。  
食事の後の火の始末には  
くれぐれもご用心。

**野山を  
マウンテンバイクで  
駆けめぐる**

舗装された道ではなく、  
山道や小道を走るのもおもしろい。  
キャンプサイトからマウンテンバイクに乗って  
湖畔を一回りしたり、森の中を自転車で走って  
走り回れば新しい発見があるかも。  
※トレッキングをしている人等に充分注意して  
ゆっくり走りましょう。また、自転車であつても  
むやみに草花をむき倒したりすると  
自然破壊につながります。

たっぷり楽しむ

# 四国中央市観光ルート

通年 [車を利用]

## 紙と歴史・森林浴コース 4~5時間

三島川之江IC 3分 ↔ 愛媛県紙産業研究センター 15分 ↔ 紙のまち資料館 5分 ↔ 高原ふるさと館 20分  
 真鍋家(国指定重要文化財) 40分 ↔ 三角寺(四国第65番霊場) 30分 ↔ 霧の森(交湯~館) 3分 ↔ 新宮IC

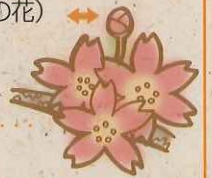
## 水浪漫コース 4~5時間

三島川之江IC 20分 ↔ 具定展望台 20分 ↔ 翠波高原(展望台) 15分 ↔ 金砂湖畔公園(金砂湖) 30分 ↔ 柳瀬ダム 15分  
 奥ノ院仙龍寺 20分 ↔ 新宮ダム 15分 ↔ 霧の森(交湯~館) 3分 ↔ 新宮IC

四季満喫コース [車を利用]

## 桜・菜の花コース 4月

三島川之江IC 10分 ↔ 三島公園 15分 ↔ 具定展望台 10分 ↔ 金砂湖畔公園 15分 ↔ 翠波高原(菜の花) ↔  
 (法皇スカイライン) 40分 ↔ 三角寺(四国第65番霊場) 25分 ↔ 城山公園 15分 ↔ 三島川之江IC



## 新緑・あじさいコース 5~6月

三島川之江IC 20分 ↔ 具定展望台 5分 ↔ 水ヶ滝 5分 ↔ 金砂湖畔公園 15分 ↔ 翠波高原 ↔  
 (法皇スカイライン) 60分 ↔ あじさいの里 20分 ↔ 霧の森(交湯~館) 3分 ↔ 新宮IC

## コスモスコース 8~9月

三島川之江IC 20分 ↔ 具定展望台 15分 ↔ 翠波高原(コスモス) ↔ (法皇スカイライン) 40分 ↔  
 三角寺(四国第65番霊場) 25分 ↔ 紙のまち資料館 15分 ↔ 三島川之江IC



## 紅葉コース 10~11月

三島川之江IC 30分 ↔ 真鍋家(国指定重要文化財) 40分 ↔ 霧の森(交湯~館) 20分 ↔ 奥ノ院仙龍寺 50分  
 富郷溪谷 20分 ↔ 金砂湖畔公園 10分 ↔ 具定展望台 20分 ↔ 三島川之江IC

三山登山自然体験コース

## 赤星山登山コース 往復6~7時間

土居IC → 国道11号線 (車で10分) ↔ 登山口 40分 ↔ 機滝 40分 ↔ 千丈滝 80分 ↔ 頂上 70分

## 二ツ嶽登山コース 往復5~6時間

土居IC → 国道11号線 (車で40分) ↔ 登山口 30分 ↔ 敬天の滝 45分 ↔ 峨蔵越 40分 ↔ 鯛の頭 30分 ↔ 頂上

## 東赤石山登山コース

### 氷穴コース 往復6~7時間

土居IC → 国道11号線 (車で40分) ↔ 河又 (車で30分) ↔ 登山口 70分 ↔ 氷穴 15分 ↔ 祠 55分 ↔ 頂上

### 権現越コース 往復8~9時間

土居IC → 国道11号線 (車で40分) ↔ 河又 (車で30分) ↔ 登山口 135分 ↔ 権現越 70分 ↔ 頂上

### 榎木の滝・大森越コース 往復8~9時間

土居IC → 国道11号線 (車で40分) ↔ 河又 (車で5分) ↔ 榎木の滝 60分 ↔ 大森越 110分 ↔ 権現越 70分 ↔ 頂上



# ちょっと寄りたい 駅周辺散策コース

## JR伊予三島駅周辺コース

### 徒歩 1～1.5時間コース

JR伊予三島駅 5分 ↔ 商店街(陣屋跡・西参道) 5分 ↔ 三島神社(南門) 5分 ↔ 興願寺(三重の塔) 5分  
 中央公園 5分 ↔ JR伊予三島駅

### 徒歩 3～4時間コース

JR伊予三島駅 30分 ↔ 三島公園(横地山古墳) 15分 ↔ 戸川公園(疎水記念碑) 30分 ↔ 下柏の大柏 20分  
 興願寺(三重の塔) 5分 ↔ 三島神社(南門) 5分 ↔ 商店街 5分 ↔ JR伊予三島駅



## JR川之江駅周辺コース

### 徒歩 2～3時間コース

JR川之江駅 15分 ↔ 高原ふるさと館 10分 ↔ 向山古墳 20分 ↔ 紙のまち資料館 5分  
 商店街 3分 ↔ JR川之江駅

### 徒歩 3～4時間コース

JR川之江駅 5分 ↔ 川之江八幡神社 20分 ↔ 城山公園(川之江城) 15分 ↔ 西川ふれあい塾(土佐北街道) 10分  
 商店街 10分 ↔ 紙のまち資料館 20分 ↔ 高原ふるさと館 20分 ↔ JR川之江駅

## 観光施設電話番号一覧

霧の森(レストラン・コテージ・茶フェ)	0896-72-3111	食べて、見て、遊んで、泊まれる
霧の森 交湯～館(霧の森温泉)	0896-28-6408	2階の研修室では会議も可能
霧の高原(キャンプ・オートキャンプ場)	0896-72-3113	大自然を満喫・宿泊(4月～10月)
あじさいの里	0896-72-2617	4ヘクタール2万株のあじさい園(6月～7月上旬)
愛媛県紙産業研究センター	0896-58-2144	愛媛の紙産業・歴史を紹介
紙のまち資料館	0896-28-6257	紙のことなら全て分かる。展示・手漉き実習体験
川之江城山公園(天守閣)	0896-28-6267	すばらしい瀬戸内360度の眺望
かわのえ高原ふるさと館	0896-28-6260	歴史・文化の資料館
森と湖畔の公園(オートキャンプ場)	0896-28-6269	湖のほとりで年中楽しめる
真鍋家住宅(国指定重要文化財)	0896-58-8078	17世紀末ころ建築された住宅
てらの湖畔広場(法皇湖)	0896-22-0585	休憩(眺望よし)・食事あり
富郷キャンプ場	0896-22-0245	避暑 大自然を満喫(7月中旬～8月下旬)
暁雨館	0896-28-6325	歴史・文化の資料館

## 交通アクセス(所要時間)

車(高速道路)		JR		車(高速道路)		JR	
大阪	約3時間		約3時間	徳島	約1時間		約3時間
広島	約3時間		約2時間40分	高知	約1時間		約3時間
岡山	約1時間		約1時間10分	松山	約1時間		約1時間20分
高松	約1時間		約1時間				

## 総合お問い合わせ先

四国中央市 観光交流課 〒799-0192 四国中央市金生町下分865番地  
 TEL 0896-28-6187(直通) 0896-28-6200(代表)  
 FAX 0896-28-6242

四国中央市 交流政策室 〒799-0301 四国中央市新宮町馬立4491番地1  
 TEL 0896-28-6408 FAX 0896-28-6431

四国中央市ホームページ <http://www.city.shikokuchuo.ehime.jp>

# 遊・快・美!! 楽しさいっぱい waiwai map

法皇の山なみと燧灘に育まれた  
活力・交流・文化のまち四国中央市

## 四国中央市ってどんなところ?

四国中央市は平成16年4月1日に誕生したまち。名前の通り、四国のほぼ中央で瀬戸内海に面しています。

古来より海陸交通の要衝として豊かで多様な文化や歴史が育まれてきました。現在も四国4県をX字型に結ぶ高速道路、エクスハイウェイの中央結節点を有し、四国で最もアクセスに便利なまちと言えます。加えて、神戸淡路鳴門道、瀬戸大橋、西瀬戸しまなみ海道の3ルートにより西日本からも日帰り圏となっています。

製紙・紙加工業が盛んな「日本一の紙生産都市」。無農薬にこだわる「お茶どころ」。里芋や山の芋が特産の「おイモの産地」…。海に、山に、街に、活力と潤いがみなぎる、四国のまんなか、それが四国中央市です。



行こう! 遊ぼう!! 四国のまんなか